

宇土市総合防災マップの使い方

ステップ 1 自宅周辺の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップから、自宅周辺の危険な区域を確認しましょう（※高潮ハザードマップ、津波ハザードマップ、ため池ハザードマップは、該当区域のみ掲載しています）。自宅が浸水深0.5m以上（床上浸水のおそれ）の区域や、土砂災害警戒区域内に位置している場合は、特に注意が必要になります。



ステップ 2 避難所を確認しましょう

自宅から近い避難所を確認しましょう。避難所は、災害の種別や状況によって使用できる場所と使用できない場所があるので、それぞれの災害に対応した避難所を確認してください。また、裏表紙「マイタイムライン」の「家族などの連絡先」に記入して、家族で分かるようにしておきましょう。



ステップ 3 実際に避難所まで歩いてみましょう

確認した避難所までの道のりを自宅から実際に歩いてみて、地図に記載されていない情報（階段、坂道、転落防止柵がない水路など）や避難にかかる時間を確認しましょう。危険箇所を避けて、なるべく安全な避難経路を選定してください。



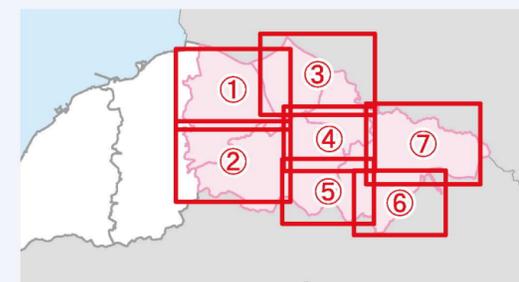
ステップ 4 マイタイムラインに行動計画を書き込みましょう

ステップ3までを家族で確認したら、裏表紙の「宇土市版 風水害時 マイタイムライン」に行動計画を書き込みましょう。



ハザードマップ索引図

洪水・土砂災害ハザードマップ



●洪水浸水想定区域について

想定最大規模の降雨に伴う洪水によって氾濫した場合の浸水範囲と深さを示しています。また、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安として、家屋倒壊等氾濫想定区域を示しています。

河川名	作成主体	作成年月日	前提となる降雨	家屋倒壊等氾濫想定区域
緑川水系緑川、浜戸川	国土交通省	平成29年5月	12時間の総雨量 595mm	○
緑川水系濁川、浜戸川	熊本県	平成31年3月	12時間の総雨量 595mm	○
網津川水系網津川	熊本県	令和2年3月	6時間の総雨量 635mm	○

●土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています（令和3年度末時点）。

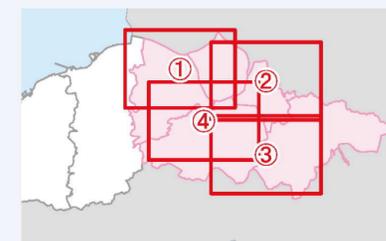
■ 氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などによる氾濫流によって、木造家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。

■ 河岸侵食による家屋倒壊等

洪水時の河岸侵食によって、木造・非木造家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。

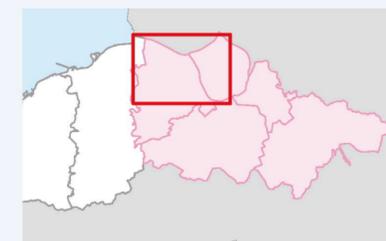
高潮ハザードマップ



●高潮浸水想定区域について

最大クラスの台風による高潮が発生した場合の浸水範囲と深さを示しています（熊本県令和3年11月作成）。

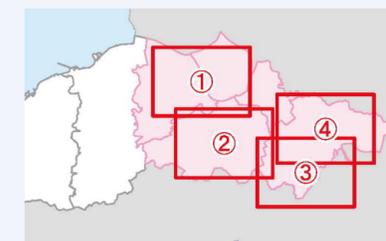
津波ハザードマップ



●津波浸水想定区域について

最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の浸水範囲と深さを示しています（熊本県平成25年3月作成）。

ため池ハザードマップ



●ため池浸水想定区域について

晴天時の地震により、ため池が決壊し、すべての貯水量が瞬時に流出した場合の浸水範囲と深さを示しています（宇土市令和3年3月作成）。災害の状況によっては、表示されている範囲以外にも被害が発生する可能性があります。

洪水浸水想定区域・高潮浸水想定区域・津波浸水想定区域の詳しい説明は、大判マップをご確認ください。